

# 熱班の調査



写真1

ヒートアイランド現象などで都市の気温が年々上昇すると、地表面の温度も上昇し、その影響はゆっくりと地下へ浸透していきます。これを利用すると、現在の地下の温度分布を測定することによって、過去の地表面の温度環境がどのように変化してきたかを推定できます。

そこで、各都市やその周辺地域の地下水観測井などを利用し、深さ200mくらいまでの温度分布を詳細に測定しました。写真1は、バンコクの地下水観測井での測定の様子で、先端にセンサーをつけたケーブルを少しずつ降ろして、温度と深さを記録しているところです。この観測井は都心から少し離れた郊外にあり、2～3階建ての住宅や商店に囲まれています。



写真2



写真3

観測井は公園や寺院などいろいろな場所に設置されていますが、学校の中にあることも多くあります。写真2は、台湾の小学校の校庭にある観測井での測定です。台北近郊の新莊市では、野球場の周囲の公園で地面の蓋を開くと観測井が現れました(写真3)。